



2019年11月11日

各位

会社名：株式会社省電舎ホールディングス
 代表者名：代表取締役社長 橋口 忠夫
 (コード番号：1711 東証第二部)
 問い合わせ先：取締役管理本部長 大浦 隆文
 (Tel:03-6821-0004)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の当社取締役会において、2019年7月19日発表「連結子会社の異動(株式譲渡)及び特別損失の発生並びに通期業績予想修正に関するお知らせ」にて公表した2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の通期業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	2,450	14	10	△167	2円37銭
今回修正予想(B)	2,460	△160	△165	△340	△80円91銭
増減額(B-A)	10	△174	△175	△173	—
増減率(%)	0.4%	—	—	—	—
(参考)前期実績 (2019年3月期)	1,280	△362	△399	△161	△56円80銭

2. 修正の理由

連結売上高は、前回予想を10百万円上回り2,460百万円となる見込みです。

連結営業損失は、前回予想を174百万円下回り160百万円となる見込みです。これは主に、長期にわたる業績低迷に伴う財政状態の悪化などを原因として、仕入・受注における同業他社との競争が一層激化していることなどから、原価率が上昇傾向となり、売上総利益が前回予想を80百万円下回る見込みとなったことに加えて、内部管理体制強化関連費用(人件費、支払報酬、業務委託費等)の上振れが続いており、今後も大幅な圧縮は困難であることから、販売費及び一般管理費が前回予想を95百万円上回る見込みとなったものであります。

連結経常損失は、前回予想を175百万円下回り165百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は、前回予想を173百万円下回り340百万円となる見込みです。これは主に、上記のとおり営業損益が下振れすることによるものであります。

※. 本資料に記載しております業績に関する予想数値は、いずれも本資料の発表時現在において入手可能な情報による判断及び仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合がありますので予めご理解いただきますようお願い申し上げます。

以上